



小牧基地総合防災訓練



第1輸送航空隊は、9月1日(月)に「小牧基地総合防災訓練」を実施しました。

この日は、緊急登庁訓練(徒歩参集及び安否確認訓練)、災害対処給食訓練、人命救助システムの運用訓練、非常用給水装置による給水訓練及び通信回線構成訓練を実施しました。

緊急登庁訓練(徒歩登庁)は、愛知県を震源とする震度7の地震が5:30に発生したことを想定して、徒歩または自転車による緊急登庁を実施しました。

災害対処給食訓練では、給養小隊が屋外での調理を実施しました。当日は、最高気温38℃を超える猛暑日ということもあり、特に万全な食品衛生管理が求められる中、酷暑環境下における危害予防、熱中症対策に留意しつつ、厳正な作業指揮の下、訓練を行いました。

人命救助システムの運用訓練においては、人命救助システムの操作要領の確認及び運用訓練を実施しました。運用訓練では、実際に訓練参加隊員がエンジンカッターやエンジン削岩機を使用して、廃材の切断、コンクリート殻の粉碎を実地に行うなど器材を使用した作業要領を習得しました。

非常用給水装置による給水訓練では、移動電源車により給電された非常用給水装置を使用した水のろ過作業を実地に行い、確実な基本操作の実施及び相互確認を行いました。

通信回線構成訓練では、基地通信途絶等の状況発生を鑑み、実際に可搬型衛星通信装置等を使用した通信網を構築する訓練を実施し、通信基盤造成に係る展開撤収要領、関連知識及び技術の向上を図りました。

各種訓練を通じ、隊員の不測事態対処能力の維持向上及び隊員一人ひとりの防災意識の高揚を図ることができました。小牧基地は引き続き、不測事態への対処能力の維持向上に努めてまいります。



愛知県名古屋飛行場管理者・運航者によるFOD防止活動



9月24日(水)、小牧基地は令和7年度愛知県名古屋飛行場管理者・運航者等と合同によるFOD防止活動を実施しました。FOD(Foreign Object Damage:異物損傷)とは飛行場に落ちているごみ等の異物を航空機のエンジンに吸い込んだりして損傷を与えることです。

早朝5:30から空輸ターミナル前に集まり、滑走路で名古屋空港側参加者と合流したのち、半分ずつ東西に分かれ、横一列で活動を開始しました。活動は名古屋空港側参加者と交流を深めながら約30分間実施し、終了したのち、参加者全員で記念撮影を行いました。

今後もこのような活動を通じて飛行場利用者間の相互理解を深め、関係機関の方々と共に安全な運航に努めてまいります。

